



水泳自由参観と学期末懇談会、ありがとうございました

先週木曜日の水泳自由参観と学期末懇談会、たくさんのご参加、ありがとうございました。参観については、以前の「記録会」ではなく、体育の授業のひとつとして参観して頂きました。普段の授業も一生懸命取り組む子供たちですが、お家の方が来られると、やはりやる気が増し、いつも以上にがんばる姿が見られました。子供たちへの声援や拍手、ありがとうございました。

学級懇談会では、学級委員会からのテーマとして、今回は「新学年になってからの伸びやがんばり、課題等」について出し合って頂きました。私も教室を回りながら話を聴かせて頂きましたが、各ご家庭で、いろいろと苦労や工夫をされながら、お子さんに関わっておられることが分かりました。子育ての悩みについては、このような場に出し合ったり、話が

できる人・機関に相談したり、決して一人で抱え込まないことをお願いします。

今週末から夏休みです。夏休みの生活について、**一番大事なことは安全に、健康に過ごすことです。水の事故、自転車の乗り方等は、特に気をつけて下さい。**



PTA保健教養委員会からのアンケート その2

学級懇談会の中で、共有する時間が取れませんでしたので、保健教養委員会の皆様の承諾のもと、ここで少し説明を加えさせていただきます。まずは、PTAの委員会活動のひとつとしてこの調査を実施したことが、とても価値があると思います。共通の悩みについて、お互いに情報を共有し、一緒に解決していくことにつながるからです。各ご家庭でのお子さんへの接し方やメディアとの向き合い方を見直すきっかけとして、今回の結果の中の必要な情報を活用してください。



＜お子さんへの向き合い方＞

○「家庭学習への関わり」について

保護者の皆様へお願いしたいこととしては、「きちんとやらせるための関わり」ではなく、努力を認める関わり（褒める、認める）、困っていることを助ける関わり（分からないことを教える、やり直しを一緒にする等）です。ある方が、「宿題をしているとき、同じ空間にいる」と書いておられましたが、一緒にいることも子供が学ぶ環境をつくることとなります。声のかけ方ひとつで、子供のやる気が大きく変わりますのでご注意ください。（間違いを正す際に、「ここ、また間違ってるやんね!」と「ほとんどよくできてる。すごい。でも、ここ、惜しい。もう1回やってみようか!」では意欲に大きな差が出ます。）

宿題の丸付けをすることについて、「我が子2人分確認するだけで、20~30



分かかる。先生は帰りまでにどうやってるのか…。かなり大変だと思います。毎日だけでなく、やれる範囲で宿題を見ることで、どんな漢字を習ってるか、算数はどこでつまづいているかが分かっていると思う」というご意見も頂いています。正にその通りで、丸付けや確認をしてもらえると、担任はかなりの負担軽減になります（お時間がある方で構いません）。家庭学習の内容については、各担任も、定着させたい内容をしっかり考えた上で出していますが、今後、「子供が受け身になっていないか」「一人一人の力に合ってるか」という視点でさらに検討していく必要があると思います。

<メディアとの向き合い方>

○「ルールを守らせるための工夫」について

保護者の方の取組にあるように、毅然とした態度で、真剣に、本気で何とかしようと思って関われば、子供たちもその大切さを理解し、ルールを守ります。**「本当にあなたの体も心も頭も心配。だから、これ以上は絶対だめ。」を本気で伝えてください。**



また、そのルールについても、親が一方的に決めるのではなく、お子さんと話し合っているご家庭が多く、その方が子供が自分から守ることができています。使用制限（みまもり設定、スクリーンタイム機能等）をかけているご家庭もありますが、これは、とても有効な方法です。一番のおすすめです。

そして、何より心配なのが、ルールのないご家庭（ルールがなくても、そもそもよくない使い方をしていないご家庭は別です）、ルールが守れていないことをそのままにしているご家庭です。これだけ科学的にも悪影響が示されている中、「子供の自主性に任せる」「言っても聞かないのでそのまま…」で本当にいいか、親としての責任を果たしているか、考える必要があります（少しきびしい言い方ですが）。

さらに、注意をしたらキレる状態になったり、隠れてでもやったりなど、本当にどうしたらいいかわからない場合、ゲーム依存になっているかもしれません。これこそ、緊急の対応をおすすめします。（まずは、学校にお知らせ下さい。）以下、各家庭の工夫です。



- ・制限をかけ、2時間以上させない。 ・スクリーンタイム設定。
- ・タイマーをセットして鳴ったら終わりという約束。
- ・メディアに関わらない、デジタル機器を使わないゲーム等で一緒に遊ぶ時間を作る。
- ・守れていなかったら、翌日使えない、1週間禁止などの罰則を一緒に決めている。
- ・ゲーム等は、宿題や翌日の準備や手伝い等が終わらないとさせない、というルール。
- ・とにかくルールを子供ときちんと話し合う。時間も一緒に確認する。

同和問題啓発強調月間 人権学習から

2年生は、福岡県が作成した人権学習資料「かがやき」にある「おかあさんからもらったほくろ」という教材（ある子が自分の足にある大きなほくろのことでからかわれるという話）をもとに、親からもらった自分の体や命の大切さ、そして、体のことで人をからかうという行為のおかしさについて学びました。

授業の中で、ある子が、「こんなの、絶対おかしいやろ。生まれたときからあるものなのに。この人は悪くないのに！」と、腹を立てていました。日々の教育活動、そして人権学習を通して、この子のように、**おかしいことを許さない心**をしっかりと育てていきます。

7/13(木) 真剣に、命と人権の学習を…!

きのうの「**命と人権の学習**」。じめのない**安心できるクラス**にするために、どんな心が大切かを考えた3、5年生。そして、明るい気持ちをもって生活する大切さ、**自分の命の大切さ**を考えた2年生。どのクラスも、みんな真剣に考え、そして進んで、自分の気持ちや考えを発表していました。**みんなの学ぶ姿を見て、御幸小は、今よりもっと安心できる学校、学級になるな、と思いました。**